

京都成安学園役員・教職員同窓会 聚英会 設立趣意書【設立宣言】

京都成安学園は、大正9年、学祖である瀬尾チカ先生が成安裁縫学校設立を京都府知事から認可された日を発祥としています。「本校ハ時代ノ進歩ニ伴ヒ最モ新シキ和洋裁縫及ビ実用的手芸ノ一般ヲ教授シ併セテ自活学習ノ便ヲ与ヘ兼ネテ婦徳涵養ニ資スルヲ以テ目的トス」と当時の校則にうたわれているように、女性が自活できる能力を身につけさせることが学校設立の目的であり、女性の社会的・経済的地位を向上させようとする先進的な取り組みは、瀬尾チカ先生の体験に裏付けられた確固たる信念に基づくものでありました。その後、幾多の試練と困難を乗り越え、平成22年に創立90周年の節目の年を通過した学園は、学祖の信念を精神的支柱として、その歴史を刻み続けています。

京都成安学園は、その創立以来、設立した幼稚園から大学までのすべての学校に「成安」という名称を冠してきました。学祖・瀬尾チカ先生が名付けた「成安」という言葉は、まさに建学の精神であります。この「成安」という素晴らしい精神を未来につないでいくことは、「成安」の名のもとに巣立っていった数多の卒業生、そして学園に関わっていただいた多くの方々など、全ての「成安人」に課せられた使命であると考えます。

京都成安学園は、創立以来4万人余の卒業生を社会に輩出してきました。その多くは、職業人として、あるいは良き家庭人として社会の様々な分野で不可欠な存在として、その輝きを放ち続けています。こうした卒業生の活躍と教職員の努力が、今日の学園を築きあげてきたものと考えます。私たちは、学園の役員・教職員のOB・OGとして、学園が社会的に確固たる地位を占めることを願ってやみません。

このたび、私たちは再び「成安」の名の下に集い、互いが交流を深める場を創造するとともに、私たち「成安人」に課せられたこの崇高な使命を果たすため、役員・教職員のOBOG会である「聚英会」を設立することといたしました。

平成24年3月18日

設立発起人

有馬 忠広	伊藤憲太郎	植田 耕治	大原 雄寛
草木 輝子	小林 佳代	坂田 光雄	四方 功一
研 義 治	花山 智久	人長 信昭	広瀬 芳子
藤野 一郎	星野高志郎	前島 習二	溝辺 行雄